(a)

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

10-215434

(43)Date of publication of application: 11.08.1998

(51)Int.CI.

H04N 5/91 G06T 13/00 G06T 1/00 H04N 5/78

(21)Application number : 09-016687

30.01.1997

(71)Applicant: FUJITSU LTD

7

(72)Inventor: SUGA TAKAAKI

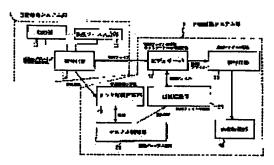
(54) IMAGE PROCESSING SYSTEM AND METHOD

(57)Abstract:

(22)Date of filing:

PROBLEM TO BE SOLVED: To autonomously generate the new consistent animation data by generating the information which associates an animation file with an object together with the animation file where the moving images are encoded to store them and then extracting and connecting plural animation files in response to the management information to automatically edit the connected animation files.

SOLUTION: When an object is detected at a detection part 11, an automatic picture recording system part 1 encodes the animation data received from a video input source part 12 at an encoding part 13 to generate an animation file and the management information. The management information is outputted to an automatic editing system part 2. At the part 2, the received management information are collected at a video server 21 and a link information management part 22. An edited animation file is obtained at an image editing part 24 based on an editing program and stored in the server 21,



for example. An encoding part 25 reads the animation file out of the server 21 and sends it to a prescribed portable storage medium.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

20.11.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-215434

(43)公開日 平成10年(1998) 8月11日

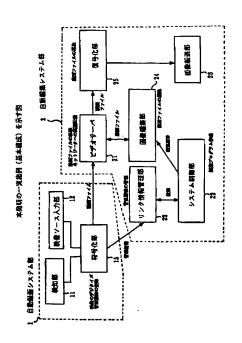
(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	FΙ				
H 0 4 N 5/91		H04N	5/91	I	N	
G06T 13/00	1	!	5/78	1	В	
1/00	1	G06F 1	5/62	340	Ą	
H 0 4 N 5/78	1			380		
		審査請求	未請求	請求項の数 2	OL	(全 8 頁)
(21)出願番号	特顯平9-16687	(71)出願人		23 朱式会社		
(22)出顧日	平成9年(1997)1月30日		神奈川以 1号	具川崎市中原区」	上小田中	4丁目1番
		(72)発明者	神奈川	高明 艮川崎市中原区_ 富士通株式会社P		14丁目1番
		(74)代理人	弁理士	井桁 貞一		

(54)【発明の名称】 画像処理システム及び画像処理方法

(57)【要約】

【目的】 複数の動画データに記録された特定の被写体 について一貫性を持つ新たな動画データを自律的に生成 する画像処理システム及び画像処理方法を提供すること を目的とする。

【構成】 被写体を検知し、該検知した被写体を撮影した動画像を符号化した動画ファイルとともに、該助画ファイルと改談写体とを関連付ける情報を生成し順次出力する自助録画システム部と、前記自助録画システム部によって出力された該助画ファイル及び該管理情報を保管し、該保管される助画ファイルのうち該被写体に関連する複数の助画ファイルを該管理情報に応じて抽出するとともに、該抽出された複数の助画ファイルを結合して結合助画ファイルを生成する自動編集システム部とからなる構成を有する。



1

【特許請求の範囲】

前記自動録画システム部によって出力された該動画ファイル及び該管理情報を保管し、該保管される助画ファイルのうち該被写体に関連する複数の動画ファイルを該管理情報に応じて抽出するとともに、該抽出された複数の動画ファイルを結合して結合動画ファイルを生成する自 10 助編集システム部とからなることを特徴とする画像処理システム。

【請求項2】 被写体を検知し、該検知した被写体を撮影した動画像を符号化した動画ファイルとともに、該助画ファイルと該被写体とを関連付ける情報を生成し、該生成された動画ファイル及び該管理情報を保管し、該保管される動画ファイルのうち該被写体に関連する複数の動画ファイルを該管理情報に応じて抽出するとともに、該抽出された複数の動画ファイルを結合して結合動画ファイルを生成することを特徴とする画像処理方法。【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、画像処理システム及び画像処理方法に関する。特に、動画像を処理するための画像処理システムに関する。近年、市街や余暇施設などで、撮影した人物画像等を装置内の既成画像と合成し、その場で出力する機能を有した一体型の画像処理システムが設置され、多くの利用がなされている。

【0002】今後は、更に付加価値の高い出力機能として、加工された動画像等が簡単且つ安価に得られるよう 30 な画像処理システムの実現が強く要望されるものと考えられる。

[0003]

【従来の技術】従来、動画像を対象とする画像処理システムとして、ビデオカメラ等の映像入力デバイスにより撮影された動画像を符号化処理し、伝送フレームやデータファイル等の一定単位の画像情報(本明細書では、以後「動画データ」と称する)を生成する技術や、助画データを管理情報とともに蓄積、管理、又は再生する技術があった。これらは主に動画像データベースや、ビデオ 40・オン・デマンド、画像監視システム等の技術分野において用いられていた。

【0004】一方、このような動画データは、公知の動画像加工技術を用いることにより、映像効果(色調変化や歪みなど)を加えたり、助画同士あるいは静止画(タイトル文字や模様など)と合成する、または複数の動画データを繋ぎ合わせるなど、個々に加工することや、これらの加工により新たな動画データを得ることも可能であった。

[0005]

2

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような従来技術は、いずれも、特定の被写体を記録した複数の動画データを自律的に関連付けるとともに、更に関連付けられた動画データを用いた新たな動画データを自律的に生成することはできなかった。このため従来は、複数の動画データに記録された特定の被写体について一貫性を持つ新たな助画データをいかにして自律的に生成するかという技術的課題を解決する画像処理システム及び画像処理方法が提供されていなかった。

【0006】本発明は、かかる課題を解決した画像処理 システム及び画像処理方法を提供することを目的とす る。

[0007]

【課題を解決するための手段】上記課題は、以下に述べる構成を有する本発明の画像処理システム及び画像処理方法によって解決される。すなわち、本発明の画像処理システムは、被写体を検知し、該検知した被写体を撮影した動画像を符号化した動画ファイルとともに、該動画ファイルと該被写体とを関連付ける情報を生成し順欠出力する自動録画システム部と、前記自動録画システム部によって出力された該動画ファイル及び該管理情報を保管し、該保管される助画ファイルのうち該被写体に関連する複数の動画ファイルを該管理情報に応じて抽出するともに、該抽出された複数の動画ファイルを結合して結合動画ファイルを生成する自動編集システム部とからなることを特徴とする。

【0008】一方、本発明の画像処理方法は、被写体を検知し、該検知した被写体を撮影した動画像を符号化した動画ファイルとともに、該動画ファイルと該被写体とを関連付ける情報を生成し、該生成された動画ファイル及び該管理情報を保管し、該保管される動画ファイルのうち該被写体に関連する複数の動画ファイルを該管理情報に応じて抽出するとともに、該抽出された複数の動画ファイルを結合して結合動画ファイルを生成することを特徴とする。

[0009]

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら本発明 の一実施例を詳細に説明する。

(1) 本発明の一実施例である画像処理システムの基本 構成

図1は、本発明の一実施例(基本構成)を示す図である。図1には、本発明の一実施例である画像処理システムの基本構成が示されており、図中の符号は次のとおりである。すなわち、1は自動録画システム、11は検知部、12は映像ソース入力部、13は符号化部、2は自動編集システム、21はビデオサーバ、22はリンク情報管理部、23はシステム制御部、24は画像編集部、25は復号化部、26は画像転送部である。

【0010】本実施例の画像処理システムは、おおきく 50 分けて自動録画システム1と自動構築システム2とから

構成されている。自動録画システム1と自動編集システ ム2とは動画データを伝送するに十分な高速の情報伝送 路、例えばATM(Asynchronous Transfer Mode)を利用 した髙速LAN (例えば100BASE-F) などを介 して相互に接続されている。

【0011】自動録画システム部1は、検知部11により 被写体の存在を検出すると、映像入力ソース部12からの 動画データを符号化部13により符号化し動画ファイルを 生成するとともに、動画ファイルと該動画ファイル内に 記録された被写体とを関連付けるため、記録された被写 10 体及び動画ファイルの識別子や被写体の記録された時刻 等を組にした情報(以下、管理情報と称する)を生成す る。そして、生成した動画ファイル及び管理情報は、前 記情報伝送路を介して自動編集システム部2へ出力され

【0012】自動編集システム部2は、自動録画システ ム部1からの動画ファイル及び管理情報をそれぞれ、ビ デオサーバ21及びリンク情報管理部22にて収集する。一 方、収集された動画ファイル及び管理情報は、システム 制御部23からの編集を実行するための一連の命令コード 20 (以下、編集プログラムと称する)を含む編集指示メッ セージにしたがって、画像編集部24によって参照または 加工され、編集済みの動画ファイル(以下、編集ファイ ルと称する)が生成される。

【0013】さらに、生成された編集ファイルは、例え ばビデオサーバ21内に一時的に蓄えられる。復号化部は ビデオサーバ21内の編集ファイルを読みだし、画像転送 部26により所定の可搬記憶媒体(ビデオテープ等)に転 送する。以下、さらに具体的な例を挙げて、自動録画シ ステム部1及び自動編集システム部2についてそれぞれ 30 説明する。

(2) 本発明の一実施例のさらに詳細な応用例

図2は、本発明の一実施例(応用)を示す図である。図 2には、本発明の一実施例である画像処理システムの具 体的な応用例が示されており、図中の符号は次のとおり である。すなわち、110 は受信機、120 はビデオカメ ラ、130 はエンコードマシン、210 はビデオサーバ、22 0 はリンク情報管理DB、230 はシステム制御コントロ ーラー、240 は画像編集システム、250 はVOD (Video On Demand) クライアント、260 はビデオテープレコー 40 ダー(以下、単にVTRと表記する)である。

【0014】図2を参照しつつ、本発明の一実施例のさ らに詳細な応用例を説明する。図2は、本発明の一実施 例のさらに詳細な応用例としての画像処理システムが示 されている。図2に示す画像処理システムは、例えばテ ーマ・バーク等の余暇施設のアトラクション設備等に適 用することを想定したものである。アトラクション施設 内には、各ビデオカメラ120 による撮影の対象となる複 数のゾーンが設定される。各ゾーンには対応する受信機 110 が設けられ、利用者があるゾーンに進入すると、利 50 データ(例えば、当該アトラクションの案内画像や、日

用者の所持する無線発振器111 からの無線信号が対応す る受信機110 により検出されるようになっている。

【0015】ことでは、利用者がアトラクション施設に 入場する様子などを撮影する個人映像用のゾーンと、ア トラクション施設内の乗り物を利用している様子などを 撮影する乗り物映像用のゾーンとが図示されている。さ らに、終了ゲートには受信機と終了通知用PCが設置さ れており、利用者が一通りアトラクション施設の利用を 終了したことを感知できるようにしている。

【0016】本実施例において、自動録画システム部 は、受信機110、ビデオカメラ120、エンコードマシン 130 から構成しており、ここでは上記2つのゾーンにお ける動画ファイルを撮影するよう構成されている。ま た、自動編集システム部はビデオサーバ210、リンク情 報管理DB220 、システム制御コントローラー230 、画 像編集システム240 、VODクライアント250 、ビデオ テープレコーダー260、受信機110及び終了通知用PC 231 から構成されている。

【0017】自動録画システム部と自動編集システム部 とは、ATMスイッチングハブ910を介して相互に接続 されており、高速LAN(ことでは100BASE-F)を形成している。自動録画システム部にて生成され た動画ファイル及び管理情報は、生成が完了したものか ら順次、それぞれ自動編集システムのビデオサーバ210 及びリンク情報管理DB220 へ転送される。転送された 動画ファイルは、システム制御コントローラー230 及び 画像編集システム240 によって、次々に利用者毎の編集 ファイルに編集され、ビデオサーバ210 に蓄積される。 【0018】蓄積された編集ファイルはVODクライア ント250 からの指示にしたがって次々に再生され、VT R260 によりビデオテープに転送される。なお、VOD クライアント250 からの編集ファイル出力指示は、終了 ゲートにおける利用者の感知を契機に自動的に行うこと ができる。以上の構成により、本実施例の画像処理シス テムによれば、アトラクション設備を利用している利用 者をさまざまな角度から撮影し、撮影した動画データの 中から、該利用者が記録されている部分を自動的に抽出 し、該利用者について一貫性のある動画像を記録したビ デオテープ等を短時間で製作しこれを該利用者に供給し 得るものである。また、本実施例によれば、ほぼ全自動 の編集ファイルの生産工程を構築しているため、最終的 なビデオテープ1本あたりの生産効率が高く、例えば上 記したようなサービスを低料金で提供することができ る。

【0019】なお、複数の助画ファイルから必要な助画 データを抽出し結合する際には、公知の画像加工技術 (例えば、ディゾルブ、ワイプ、スローモーション、又 はそれらの組み合わせ等)を適用することができる。さ らに、ビデオサーバ内に予め記憶された共用の固定動画

付などの利用記録情報を含むタイトル画像や枠取り画像 等;以下、マスタファイルと称する)を合成したり、つ なぎ合わせることも可能である。

【0020】また、このような利用形態である場合に は、VTRは同時に複数の転送処理を行うことが望まし く、すなわち転送に用いる可搬媒体の交換や搬送を自動 的に行うようなオートチャンジャー型VTRとすると一 層効果的である。

(3)自動録画システム部

以下、図3を用い、自動録画システム部の動作について 10 詳述する。

【0021】図3は、自動録画システム部の動作を説明 する図である。図3には、本発明の一実施例である画像 処理システムの更に具体的な応用例が示されており、図 中、他の例と概略同一の構成要素に対しては同一符号を 付してある。自動録画システム部は、カード型の無線発 振器からの無線信号を受信する受信機110 と、被写体を 撮影するためのビデオカメラ120 と、受信機110 及びビ デオカメラ120 と連携し被写体の映像を記録するエンコ ードマシン130 とからなる基本構成を有し、それぞれは 20 専用のインターフェース(例えば、NTSCビデオ信 号、RS232C、或いはUSB、IEEE1364 等)を介して接続されている。

【0022】被写体が所定の位置に接近すると、受信機 110 は、被写体が所持する無線発振器からの無線信号を 受信し、被写体の接近を感知する。このとき、無線信号 には、被写体に割り当てられたシステム内固有の識別コ ード(客ID番号等)が含まれている。無線信号を受信 した受信機110は、被写体の識別コード、被写体の接近 を感知した時刻を示す情報(タイムコード等)などを前 記インターフェースを介してエンコードマシン130 に通 知する。

【0023】エンコードマシン130は、ビデオカメラよ り入力される被写体の写った映像を符号化する機能(例 えばMotion JPEG 形式へのエンコード機能)を有すると ともに、符号化した映像を動画データ(以下、動画ファ イルと称する場合がある)として保存するに十分な図示 しない特定の記憶領域を有している。さらにエンコード マシン130 は、受信機110 から通知される被写体の客 | D番号及びタイムコード等をもとに、被写体が記録され 40 た助画データの所在を特定するための情報(例えば前記 記憶領域内の動画ファイル名A001.Mov,A002.Mov,A003.M ov....) と被写体が記録された時刻(ここではタイムコ ード)とを対応付けるための情報(以下、管理情報)を 自助的に生成する。なお、生成され記憶される管理情報 のデータ構造については、後述する。

【0024】そして、エンコードマシン130 は、例えば 前記髙速LANなどのネットワークに接続するためのイ ンターフェースを具備し、次項で詳述する自動編集シス

ァイル及び管理情報は順次自動編集システムへ向けて出 力される。すなわち、自動録画システム部が記録した動 画ファイルは、前記ネットワークを介して後述する自動 編集システム部に管理情報とともに自律的に転送され、 自動編集システム部内の特定の記憶領域(ビデオサーバ など) に識別可能に保存される。

【0025】 このようにすることにより、エンコードマ シン130 は転送前の動画データ及び管理情報を一時的に 蓄えておくのに十分な大きさの記憶領域を有していれば 良く、この場合、比較的安価なシステム構成とすること ができる。また、後述する自動編集システム部とは独立 した動作が可能となるので、自システムの負荷を軽減す ることができる。

(4)自動編集システム部

以下、図4を用い、自動編集システム部の動作について 詳述する。

【0026】図4は、自動録画システム部の動作を説明 する図である。図4には、本発明の一実施例である画像 処理システムの更に別の具体的な応用例が示されてお り、図中、他の例と概略同一の構成要素に対しては同一 符号を付してある。自動編集システム部は、自動録画シ ステム部より転送される動画ファイルを蓄積するビデオ サーバ210 と、ビデオサーバ210 内に蓄積された各動画 ファイルのどこに被写体が記録されているかを特定する ための管理情報を管理するリンク情報管理 D B部220 と、被写体単位の動画データを生成するための自動編集 プログラム(後述)を生成するシステムコントローラー 230 と、編集プログラムに基づき複数の動画データを編 集するビデオ編集システム部240 と、ビデオ編集システ ム部240 により生成された編集済みの動画ファイル(編 集ファイル)を外部からの要求に応じて可搬媒体(ビデ オテープ、ビデオディスク等)に出力するVODクライ アント250 とからなり、それぞれは、ネットワークを介 して相互接続されている。

【0027】ビデオサーバ210 は、例えばATM-LA Nなどの高速なネットワークを介して自動録画システム 部のエンコードマシン130 と接続されており、自動録画 システム部より転送される動画ファイルを蓄積するため の十分な大きさの記憶領域を有している。蓄積されてい る助画ファイルにはそれぞれ固有の動画ファイル名(例 えば、A001.Mov,A002.Mov,A003.Mov,...) が付けられ、 識別可能に保存される。なお、NTSC等の動画像信号 をJPEG符号化、ATMネットワークを介して伝送す る技術は特願平7-261903号に詳細に記載されて

【0028】リンク情報管理DB部は、自動録画システ ム部より転送される管理情報を順次蓄積することによ り、自動録画システム部よりビデオサーバに転送された 動画データ及びこれに関連する被写体の情報(動画ファ テム部と通信可能に接続されており、生成される動画フ 50 イル名、客ID番号、タイムコード等)を管理してい

る。システムコントローラー230 は、所定の規則に則っ て(例えば撮影されてから最も時刻の経過した被写体を 優先するなど) リンク情報管理 DB部220 内の管理情報 を検索し、特定の被写体を編集対象とする。次に、ビデ オサーバー210 に蓄積されている動画ファイルのうち、 編集対象となった被写体を記録した部分を特定(例え は、記録開始時刻から一定時間)し、これらをどのよう な順序でつなぎ合わせるか、又、どのような画像加工を 施すかなどを逐次的に示した一連の命令コードセット (編集プログラムと称する)を生成する。

【0029】システムコントローラー230 により生成さ れた編集プログラムは、例えば、直ちにビデオ編集シス テム部240 へ転送される。編集対象となり編集プログラ ムの生成が完了した被写体は、未完了のものとは区別さ れる。ビデオ編集システム部240 は、システムコントロ ーラー230 より転送される編集プログラムを順次記憶 し、一定の規則にしたがって(例えば、転送受信した時 刻のから最も経過しているものから順次、又は編集ブロ グラムの転送時に指定される順序) 編集を実行する。

【0030】すなわち、ビデオ編集システム部240は、 編集プログラムにより指定される複数の動画ファイルの 全部又は一部を指定されたとおりに結合し、或いは加工 することにより編集を実行するものである。このとき、 被写体の記録された動画ファイル以外に、予め用意され た既成の動画ファイルや、編集プログラムにより指定さ れた文字列や図形等を含む合成画像(タイトルや日付な ど)を記録したマスタファイルを結合や加工に使用する ことができる。

【0031】このようにビデオ編集システム部240 によ り編集されあるいは加工されて生成された新たな動画フ 30 ァイル(編集ファイル)は、例えばビデオサーバー内の 特定の記憶領域に識別可能なファイル名が自動的に付与 されて保管される。VODクライアント250 は、表示画 面、キーボードなどのユーザーインターフェースを有し ており、オートチェンジャーVTR260 あるいはCD-ROMライター261 を制御することにより、ユーザーイ ンターフェースより指定された編集ファイルをビデオテ ープ或いは書込み可能なビデオディスク(CD-RW 等) に転送する。

【0032】すなわち、VODクライアント250 のユー ザーインターフェースにより前記ビデオサーバ内に保管 された特定の編集済みファイルに対する出力要求が受け 付けられる。例えば、被写体を特定する識別コードと出 力する可搬記憶媒体の種別等がキーボードより入力され ると、対応する編集済み動画ファイルをビデオサーバか ら転送する。このとき、VODクライアント250 では転 送する先の装置に応じて、適切な画像出力形式が選択さ れるものであり、例えは、オートチェンジャーVTR26 0 の入力インターフェースがNTSCビデオ信号であれ は、動画ファイルを自装置内の復号化機能によりNTS 50 Cビデオ信号に変換した信号を与えるよう構成されてい

【0033】本実施例では、自動録画システム部により 記録された助画データは、自動編集システム部により自 律的に編集されてあらかじめ編集済みファイルとして蓄 積される。とのような構成とする理由は、VODクライ アントからの出力要求に対して比較的早く可搬記録媒体 への転送を終了させることができ、特に、単位時間当た りの出力要求頻度が高いような場合に複数の画像転送部 により動画ファイルの復号および媒体への画像転送を並 列処理することを想定しているからである。

【0034】したがって、その必要のない場合はVOD クライアントからの要求が受け付けられてから必要な編 集プログラムが生成されるように構成することもでき る。この場合は、例えば、VODクライアントからの出 力要求をシステムコントローラで受け付け、受け付けた 出力要求にしたがい、自律的に実行する場合と同様に編 集プログラムを生成すればよい。

【0035】 ことで、管理情報のデータ構造について説 明する。図5は、管理情報のデータ構造例を説明する図 である。図中、(a)はリンク管理テーブルを示し、 (b)はグループ管理テーブルである。図5の(a)リ ンク管理テーブルは、客ID番号ごとに、例えばゾーン 毎の動画ファイル名とタイムコードを組にして記録した ものである。複数の被写体がグループ登録しており、同 時に撮影された映像を提供する必要がある場合は、値を 「グループ」とし、同一の動画ファイルを参照するよう にしている。

【0036】さらに、動画ファイル管理形態について補 足的に説明する。図6は動画ファイル管理形態の一例を 説明する図である。ビデオサーバ210 において、自動録 画システム部や画像編集システム部から転送される動画 ファイルは、例えば動画ファイルの種別毎に設けられた フォルダ等に自動的に仕分けられて保管される。

【0037】なお、図7に示すように、撮影中のゾーン において複数の被写体が同時に検出された場合は、最後 の被写体の撮影が完了するまで撮影を継続するように し、各被写体毎の動画ファイル名は同一とし、各被写体 に対応するタイムコードのみそれぞれ異なるように管理 情報を生成することができる。

[0038]

【発明の効果】以上、詳細に説明したように、本発明に よれば、複数の動画データに記録された特定の被写体に ついて一貫性を持つ新たな動画データを自律的に生成可 能な画像処理システム及び画像処理方法を提供すること ができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】 本発明の一実施例(基本構成)を示す図
- 【図2】 本発明の一実施例(応用)を示す図
- 【図3】 自動録画システム部の動作を説明する図

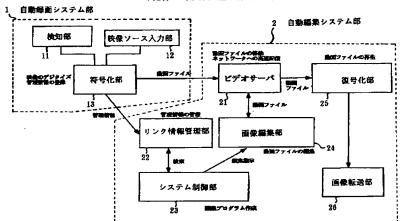
特開平10-215434

- 【図4】 自動編集システム部の動作を説明する図 【図5】 管理情報のデータ構造例を説明する図
- 【図6】 画像ファイル管理形態の一例を説明する図
- 【図7】 画像ファイル作成動作の応用例を説明する図 【符号の説明】
- 1 自動録画システム部
- 11 検知部
- 12 映像ソース入力部
- 13 符号化部
- 2 自動編集システム部
- 21 ビデオサーバ
- 22 リンク情報管理部
- 23 システム制御部
- 24 画像編集部

- * 25 復号化部
 - 26 画像転送部
 - 110 受信機
 - 111 無線発振器
 - 120 ビデオカメラ
 - 130 エンコードマシン
 - 210 ビデオサーバ
 - 220 リンク情報管理DB
 - 230 システムコントローラ
- 10 240 ビデオ編集システム部
 - 250 VODクライアント
 - 260 オートチェンジャーVTR
 - 261 CD-ROMライター
- * 901 ATMスイッチングルータ

【図1】

本発明の一実施例(基本構成)を示す図

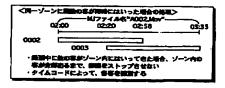


【図6】

画像ファイル管理形態の ・例を説明する図

【図7】

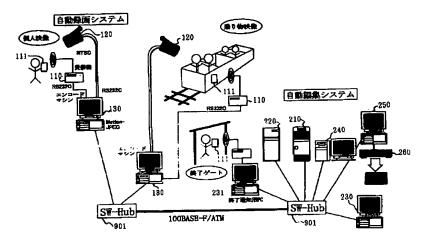
画像ファイル作成動作の応用例を説明する図



10

[図2]

本発明の…実施例(応用)を示す図

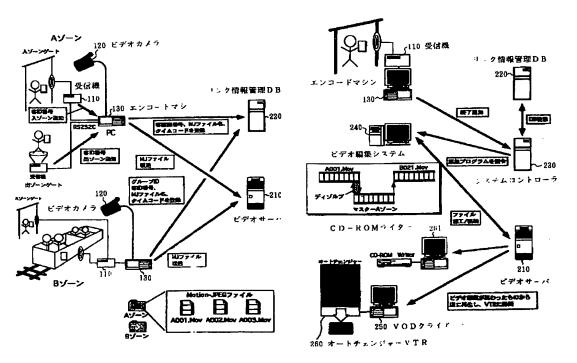


【図3】

【図4】

自動録画システム部の動作を説明する図

自動編集システム部の動作を説明する図



特開平10-215434

(8)

【図5】

管理情報のデータ構造例を説明する図

SIDBA	Aゾーン		Bゾーン		
	メリファイル係	タイムコード	Mファイル名	タイムコード	
0001	A001,Mov	00:00-01:35	BOZT MOV	08:00-08:35	
2000		02:00-02:58		グループ	i
0003	A002.Mov	02 : 20-03 : 35	B015JMov	02:20-03:35	i
•					
					. . .
-		•			
				l .	ŀ

(a)リンク管理ペープ

SIDES	グループロ	MJファイル
0002	B0001	9015.Mev
0098	B0001	3015.Hov
0008	B0001	BO15.Mov
	1	1
	l.	
	i	1

(b)グループ管理デ- マ